

平成22年10月相模原市教育委員会定例会

○日 時 平成22年10月25日（月曜日）午前9時00分から午前9時19分まで

○場 所 相模原市役所 教育委員会室

○日 程

1. 開 会

2. 会議録署名委員の決定

3. 議 事

日程第 1（議案第39号） 相模原市スポーツ振興審議会委員の人事について（生涯  
学習部）

4. 閉 会

○出席委員（5名）

委 員 長 溝 口 碩 矩

委員長職務代理者 小 林 政 美

教 育 長 岡 本 実

委 員 金 川 純 子

委 員 斎 藤 文

○説明のために出席した者

教 育 局 長 三 沢 賢 一 教 育 環 境 部 長 村 上 博 由

学 校 教 育 部 長 小 泉 和 義 生 涯 学 習 部 長 大 貫 英 明

教 育 局 参 事 兼 林 孝 教 育 総 務 室 田 中 雅 幸  
教 育 総 務 室 長 担 当 課 長

ス ポ ー ツ 課 長 八 木 博 ス ポ ー ツ 課 菊 地 原 真  
担 当 課 長

ス ポ ー ツ 課 副 主 幹 萱 野 克 彦 ス ポ ー ツ 課 主 事 斎 藤 健 一

○事務局職員出席者

教 育 総 務 室 主 査 坂 本 正 俊 教 育 総 務 室 主 任 田 所 耕 祐

□開 会

◎溝口委員長 それでは、ただいまから相模原市教育委員会10月定例会を開会いたします。

本日の出席委員は5名で定足数に達しております。

本日の会議録署名委員に、金川委員と私、溝口を指名いたします。

はじめにお諮りいたします。本日の会議を公開の会議とすることで、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

◎溝口委員長 では、本日の会議は公開といたします。

傍聴人の方は、お入りいただいて結構です。

(傍聴人入場)

---

□相模原市スポーツ振興審議会委員の人事について

◎溝口委員長 それでは、議事日程に基づき、これより日程に入ります。

日程1、議案第39号、相模原市スポーツ振興審議会委員の人事についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○大貫生涯学習部長 議案第39号、相模原市スポーツ振興審議会委員の人事につきまして、ご説明申し上げます。

相模原市スポーツ振興審議会につきましては、安倍希美氏の任期満了により欠員が生じておりますため、スポーツ振興法第18条第4項の規定に基づき、後任の委員を委嘱いたしたく、提案するものでございます。

後任の委員としてご提案しております井上直子氏でございますが、スポーツ有識者として、ご委嘱申し上げるもので、現在は、青山学院大学教育人間科学部教授を務められております。

スポーツ振興審議会委員の任期といたしましては、平成22年10月25日の委嘱日から2年でございます。

なお、今回の任命に当たり市長に意見を求めましたところ、特に意見がない旨の回答をいただいております。

以上で、議案第39号の説明を終わらせていただきます。よろしくご決定くださいますようお願いいたします。

◎溝口委員長 説明が終わりました。これより質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。

(「なし」の声あり)

◎溝口委員長 ありませんので、これより採決を行います。

議案第39号、相模原市スポーツ振興審議会委員の人事についてを原案どおり決することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎溝口委員長 ご異議ございませんので、議案第39号は可決されました。

以上で、本日の議事はすべて終了いたしました。

次に、委員の皆さんから何かございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

◎溝口委員長 それでは、次に、事務局から報告があるようです。

準備があるようですので、準備をお願いいたします。

それでは、スポーツ課より報告をお願いいたします。

○八木スポーツ課長 それでは、政令指定都市移行記念事業の主なものの報告をいたします。説明に关します写真も映し出しますので、あわせてご覧いただきたいと思ひます。

政令指定都市移行記念事業の大きな大会といたしまして、まず、3月に「2010アジアショートトラックスピードスケート選手権・相模原大会」が開催されました。

3月13、14日に銀河アリーナを会場として開催され、6カ国・選手94人、観戦者1,400人が訪れる大会となりました。

開会式には、日本スケート連盟の橋本聖子会長もお越しになりました。

日本代表選手24人のうち、相模原市にゆかりのある選手が7人出場いたしました。いずれも、相模原スピードスケートクラブの在籍選手、出身選手です。

その選手の主な成績でございます。まず、坂下泰子選手でございます。神奈川大学の職員でございますが、シニア3,000メートルリレーで1位となっております。

それから、斉藤仁美選手でございます。こちらは神奈川大学の学生でございますが、ジュニア500メートル、1,000メートル、1,500メートル、いずれも3位でございます。それと、2,000メートルリレーの2位でございます。

次に、斉藤慧選手でございます。清新中学校の中学生でございますが、ノービスの1,000メートルで2位でございます。

秋元航太選手でございます。大野台中の中学生でございますが、ノービスリレーの2位でございます。

続きまして、高等学校硬式野球といたしまして、4月10日に行いました東海大学付属相模高等学校と埼玉県の花咲徳栄高等学校の記念試合の報告でございます。

試合は、平成22年4月10日、土曜日でございますが、午後1時から、市立相模原球場で行いました。この両校は、昨年の秋の関東大会で決勝戦を戦い、今年の春の選抜甲子園大会に出場した、ともに人気のある有名校でございます。

市民の関心は高く、試合開始前から長蛇の列となっており、政令指定都市移行のPRとして、球場全体にのぼり旗を掲出したほか、電光掲示板への表示、PR用のクリアファイルの配布など、積極的に行いました。

これは開会式の様子でございます。少年野球の選手から両監督へ花束が贈られました。

ご覧のとおり、多くのファンがスタンドで声援を送りました。観客数は約3,800人ございました。

投げているのは、東海大相模のエースの一二三投手でございます。

東海大相模の強力打線が、相手投手をとらえました。

結果は、晴天に恵まれて好条件の中、ホームランも出るなど打撃戦が繰り広げられ、7対3で東海大相模が勝ちました。

市民への政令指定都市移行のPRとともに、昨年、県から移譲を受けました相模原球場のPRや、甲子園を目指す子どもたちに甲子園出場校のハイレベルな高校野球を身近に見る機会を提供することができたと考えております。

さて、次に、皆様ご案内のとおり、東海大相模はこの夏、神奈川県大会で186校の激戦を勝ち抜き、33年ぶり8回目となる夏の甲子園へ出場いたしました。

甲子園では、一二三投手の力投や、強力打線により、見事、40年ぶりの決勝進出を果たしました。8月21日に行われた決勝戦には、加山市長をはじめ、松沢県知事もスタンドに駆けつけ、熱い声援を送りました。

地元も盛り上がりました。選手の懸命なプレーに、市民の声援も大変な盛り上がりを見せました。決勝戦では、市役所と東海大相模高校に大型テレビなどを設置し、パブリックビューイングを行いました。用意した席は満席となり、市役所では100名以上、東海大

相模高校で700人以上の方々が観戦をいたしました。

決勝戦では、沖縄県の興南高校に敗れはいたしましたが、熱闘の末の見事な準優勝は、市民に夢と感動を与えてくれました。

決勝戦の2日後の8月23日でございます。夏の甲子園準優勝の凱旋報告会を市役所の本庁舎のロビーで行いました。会場には約250人の市民が訪れ、加山市長から健闘をたたえる「称讃の楯」を贈呈いたしました。

次に、全日本実業団卓球選手権大会でございます。

この大会は、7月22日木曜日から4日間、冷房などの大型改修工事が完了しました市立総合体育館で開催されました。60回を数える歴史ある大会で、実業団の選手にとっては国内トップレベルの大会に位置づけられております。

男女団体戦各県等の代表約165チーム、1,300人の選手等が参加いたしました。観戦者を含め、延べ11,134人が会場を訪れました。

開会式とPRの様子でございます。メイン会場には大きな横断幕が掲げられました。

会場にはたくさんの卓球台が並び、猛暑に負けないくらいの熱戦が繰り広げられました。

有名な選手も参加をしております。5月にロシアで開催された世界卓球選手権大会におきまして、銅メダルを獲得した張一博選手や藤井寛子選手、そして藤沼亜衣選手をはじめ、一流の選手が多数参戦しております。

写真の方を左からご覧ください。藤井寛子選手でございます。日本生命の所属でございます。5月の世界卓球選手権大会で銅メダルを獲得しまして、日本女子チームの主将でございます。

それから、左から2番目でございます。田勢邦史選手でございます。協和発酵キリンの所属でございます。2009年の世界選手権の日本代表でございます。

それから、右から2番目、藤沼亜衣選手でございます。日立化成の所属でございます。やはり5月の世界卓球選手権大会で銅メダルを獲得しております。

それと、一番右の上側でございます。張一博選手でございます。東京アート所属でございます。やはり5月の世界卓球選手権大会で銅メダルを獲得しております。

男子決勝戦の「東京アート」対「協和発酵キリン」でございます。シングルス、ダブルスを含む団体戦でございます。3試合先取したチームが勝利という形になります。最大で5試合を戦います。

女子決勝戦の「日本生命」対「日立化成」の様子でございます。左側の写真の手前が、

日本女子の主将の藤井選手でございます。それと、右側の写真の奥の選手が、同じく日本代表の藤沼選手でございます。

表彰式の様子でございます。結果は、男子が「東京アート」が「協和発酵キリン」を3対0で破り、3年連続5度目の優勝となりました。

女子は「日本生命」が「日立化成」を熱戦の末、3対2で破り、4年連続8度目の優勝に輝きました。

市民の皆様が身近な施設で国内最高峰の大会を観戦することができました。

なお、来年は秋田市の開催の予定でございます。

続いて、平成22年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会でございます。

このラジオ体操は、夏休みの期間中、毎日、全国を1会場ずつ移動し、開催されております。本市で開催されたのは12年ぶりで、前回は、神奈川県体のPRとして、平成10年に行われました。

今回のラジオ体操は、8月21日土曜日、午前6時から、市立相模原麻溝公園芝生広場で行われました。

開会式の模様でございます。当日はすばらしい晴天に恵まれ、PRとして、大きな幕を掲出いたしました。

早朝にもかかわらず、本当にたくさんの方々に参加していただき、参加者は、約2,400名でございました。

ラジオ体操の様子は、日本全国や世界へ向けて生放送され、本市のPRコメントも流されるとともに、健康づくりのための運動をするきっかけとなりました。

また、そのほかの主な記念事業でございますが、昨年度となりますが、平成22年1月1日に麻溝公園競技場周辺で開催されました「第34回元旦マラソン」では、956人の方々が参加をされました。そして、1月17日、麻溝公園競技場をスタートとゴールとする「第70回相模原駅伝競走大会」が、最長36キロメートル6区間のコースなどで開催され、1,087人の方々が参加をされました。

さらには、今年度は「相模原市民選手権大会」の26競技種目を記念事業と位置づけまして、来年3月まで各競技で開催をされております。また、5月より市内開催の26大会等におきまして、「スポーツスタンプラリー」を開催し、記念品の配布を行いました。ほかにも、8月に「市民富士登山」を開催し、79人の方々が参加をされております。

以上、政令指定都市移行記念事業の主なものの報告でございます。ありがとうございます。

した。

◎溝口委員長 報告が終わりました。席はこの状態のままで、結構でございます。質疑に入りたいと思いますが、ご質問等はございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

◎溝口委員長 この件はよろしいでしょうか。

それでは、職員の皆様方は、元の席にお戻りください。

それでは、最後に、次回の会議の予定日でございますが、11月15日月曜日、午前9時から当教育委員会室で開催する予定でよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

◎溝口委員長 それでは、次回の会議は11月15日月曜日、午前9時の開催予定といたします。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

これをもちまして、定例会を閉会いたします。

---

□閉 会

午前9時19分 閉会